

【プレスリリース】

令和5年10月10日

一般社団法人未来社会推進機構の地域連携による エリアマネジメント事業（「未来のムラ創造プロジェクト」）に伴う記者会見について

一般社団法人未来社会推進機構
代表理事 吉越 明人

国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」によると、飯山市の人口は、2015年の21,438人から30年後の2045年には10,617人に半減する予想となっています。人口減少は集落の衰退に直接つながることから、抑制・改善するための地域活性化や地方創生を一刻も早く進めていく必要があります。

そこで、一般社団法人未来社会推進機構（以下、機構）は、今の子ども達が地域の担い手となる約30年後、21世紀の折り返しにあたる2050年を目処に、各集落が人口の急激な減少を食い止め、活気ある自治活動が維持できるよう、各集落が抱える課題を、集落との緊密な連携をベースに解消し、その魅力を維持、創出する活動として、エリアマネジメント事業（「未来のムラ創造プロジェクト」）を進めていくことにしました。

令和5年度は、飯山市瑞穂地区の小菅区と北原区の2集落について事業を進めてまいり、この度2050年の両区の目指すべき未来の姿（未来図：未来のムラ）を描き、その姿を叶えるため地域ともに協力して活動する移住者の希望像を決定しました。今後は、両区の魅力や移住者の呼びかけをホームページやSNSなどにより行うとともに、来年度以降も両区の描かれた未来図の具体的な実現化に向けて、エリアマネジメント事業のさらなる展開を進めて参ります。

つきましては、今まで進めてまいりました小菅区と北原区のエリアマネジメント事業（「未来のムラ創造プロジェクト」）について、下記のとおり発表を行います。

記

1. 日時 令和5年10月16日（月）15時
2. 会場 一般社団法人未来社会推進機構 事務所 2階
（飯山市大字瑞穂6117-2 オープンラボじねんぼう）
3. 予定出席者（4名）
 - （1）区関係 ・小菅区長 小林道男 ・北原区長 佐藤輝美
 - （2）一般社団法人未来社会推進機構 ・代表理事 吉越明人 ・副理事長 出澤俊明
4. 発表内容
 - （1）エリアマネジメント事業（未来のムラ創造プロジェクト）について
別紙1のとおり
 - （2）小菅区と北原区の未来図と移住者募集の概要について
別紙2のとおり

(3) 未来図のチラシと移住者募集のチラシについて

①小菅区 ・未来図 水を祀る村 ・移住者募集 水を祀る人求む
別紙チラシのとおり

②北原区 ・未来図 農に生きる村 ・移住者募集 農に生きる人求む
別紙チラシのとおり

5. 問い合わせ先

一般社団法人未来社会推進機構 副理事長 出澤俊明

電話 0269-67-0520 FAX 0269-67-0520

携帯 090-4919-8429

エリアマネジメント事業（未来のムラ創造プロジェクト）とは

国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口（平成 30（2018）年推計）」によると、飯山市の人口は、2015年の21,438人から30年後の2045年には10,617人に半減する予想となっています。人口減少は集落の衰退に直接つながることから、抑制・改善するための地域活性化や地方創生を一刻も早く進めていく必要があります。

そこで、一般社団法人未来社会推進機構（以下、機構）は、今の子ども達が地域の担い手となる約30年後、21世紀の折り返しにあたる2050年を目処に、各集落が人口の急激な減少を食い止め、活気ある自治活動が維持できるよう、各集落が抱える課題を、集落との緊密な連携をベースに解消し、その魅力を維持、創出する活動として、エリアマネジメント事業を進めていくことにしました。

機構が集落と連携していくエリアマネジメント事業の内容は、次のとおりです。

（1） まずは、集落毎に、区の歴史調査や、区民へのアンケート・ワークショップなどによる意識調査を通じて、集落の魅力を維持・創出する約30年後の2050年を目標とした「集落の未来図（未来のムラ）」を作成します。

（2） そして、その集落の未来図を完成するための課題を拾いあげ、その課題を解決するために「必要となる人材」と、その「人材の活動にとって必要となる集落のサポート内容」を決めます。

（3） 併せて、その人材が集落に移住して住むことができる売買可能な空き家を調査し発掘します。

（4） 次に、空き家に住み、地域の課題を解決する活動いただける人材を募集し、希望者が現れた際には、集落は希望者と面談を行い、移住希望者と集落とが協力体制がとれる信頼関係を確認し、移住後は移住生活をサポートします。このことは、移住者側から見ると、自らのライフスタイル、自分らしい生活が地域支援により実現できることになり、大きなメリットになると考えます。

（5） その後も引き続き、集落の未来図の実現化を目指し、新たな産業形態の創出や商品開発・生産物開発などにより、地域の価値創造活動を支援していきます。

（6） 令和6年度以降は、5年度に連携してエリアマネジメント事業をスタートした瑞穂地区の小菅区と北原区以外の集落へも、この事業を広げていきます。

※事業の中の空き家の掘りこしや不動産会社への紹介業務には、令和4年8月に事業を開始した、「空き家となった古民家に再びあかりを灯す」を合言葉に、古民家探しからリノベーションまでワンストップでサポートする「幸家・信州いいやま古民家リユースセンター」が担当します。

小菅区と北原区の未来図と移住者募集について

(1) 小菅区

① 未来図 「水を祀る村」

小菅集落は、自然信仰の時代、水分神（ミクマリノカミ）という水の神が祀られ、後に白鳳8年（680年）修験道の開祖役小角が小菅山を開山し、北信濃三大修験場として栄えました。

まもなく開山1400年を迎える小菅集落は、昔からずっとあった「水を祀る村」という気持ちを大切に、水をもう一度見直し水による新しい産業構造を考え、新しい未来のムラを描きます。

② 移住者募集 「水を祀る人求む」

— 未来の人・大募集 —

水に従い五穀豊穰、万民を豊かにする。

一千年の伝統こそ日本の未来を明るくします。

○条件：年齢・性別不問

環境・景観保全と修験文化に興味のある方

伝統祭事に参加できる方

地域の共同作業に参加できる方

○支援：集落の古民家等の空き家・空き地の紹介

農地の斡旋、農家の指導など全面協力

歴史、伝統文化の学習機会の提供

小菅集落 一同

(2) 北原区

① 未来図 農に生きる村

北原集落は、飯山市常盤の佐藤権左衛門が、寛永18年（1641年）、北原地積での新田開発を行い今の集落が開村された。昭和に入り、集落に隣接する天祢津地区の広大な農地開発を行い、「農魂」は生き続けてきました。

まもなく開村400年を迎える北原集落は、昔からずっとあった「農に生きる村」という気持ちを大切に、新しい農業形態や生産物を考え、未来のムラを描きます。

② 移住者募集 「農に生きる人求む」

— 未来の人・大募集 —

未来の「食と農」問題について強い関心のある方、
この地で創造的活動をしては如何？

○条件：年齢・性別不問

農に対して体力と熱量の強い方

地域の共同作業に参加できる方

○支援：集落の古民家等の空き家・空き地の紹介

農地の斡旋、農家の指導など全面協力

北原集落 一同

一般社団法人未来社会推進機構の地域連携による
エリアマネジメント事業における小菅区及び北原区の経過

1. 小菅区

令和4年12月18日 小菅区総会 エリアマネジメント事業の推進について合意

～ 小菅区里づくり委員会 会議 ～

令和5年4月15日 区民アンケート 4月下旬アンケート回収（92人 78%）

～ 小菅区里づくり委員会 会議 ～

令和5年5月21日 一般社団法人未来社会推進機構との調印式

令和5年6月上旬 空き家所有者意向調査（15軒中8軒の回答）

～ 小菅区里づくり委員会 会議 ～

令和5年8月20日 小菅区協議員会 未来図と人材募集のチラシの承認

2. 北原区

令和4年12月4日 北原区総会 エリアマネジメント事業の推進について合意

～ 北原区ふるさと暮らし支援委員会 会議 ～

令和5年3月15日 区民アンケート 3月下旬アンケート回収（38人 63%）

～ 北原区ふるさと暮らし支援委員会 会議 ～

令和5年5月21日 一般社団法人未来社会推進機構との調印式

令和5年6月上旬 空き家所有者意向調査（11軒中11軒の回答）

～ 北原区ふるさと暮らし支援委員会 会議 ～

令和5年7月20日 北原区総会 未来図と人材募集のチラシの承認

村は宝に溢れている

小菅集落は、自然信仰の時代、水分神（ミクマリノカミ）という水の神が祀られ、後に白鳳8年（680年）修験道の開祖役小角が小菅山を開山し、北信濃三大修験場として栄えてきました。まもなく開山1400年を迎える小菅集落は、昔からずっとあった「水を祀る村」という気持ちを大切にして、水をもう一度見直し水による新しい産業構造を考え、新しい未来のムラを描きます。

水を 祀る村

小菅山開山1400年 長野県飯山市小菅集落

— 未来のムラ創造プロジェクト —

お問い合わせ：一般社団法人 未来社会推進機構（担当：出澤）
長野県飯山市大字瑞穂 6117-2 TEL：0269-67-0520
長野県地域発元気づくり支援金を活用しています



水を祀る人 求む。

小菅山開山千四百年 長野県飯山市小菅集落

— 未来の人・大募集 —

水に従い五穀成就、万民を豊かにする一千年の伝統こそ日本の未来を明るくします。

条件 : 年齢・性別不問

環境・景観保全と修験文化に興味のある方
伝統祭事に参加できる方
地域の共同作業に参加できる方

支援 : 集落の古民家等の空き家・空き地の紹介

農地の斡旋・農家の指導など全面協力
歴史・伝統文化の学習機会の提供

小菅集落 一同

— 未来のムラ創造プロジェクト —

お問い合わせ : 一般社団法人 未来社会推進機構 (担当 : 出澤)
長野県飯山市大字瑞穂 6117-2 TEL : 0269-67-0520
長野県地域発元気づくり支援金を活用しています



村は宝に溢れている

北原集落は、飯山市常盤の佐藤権左衛門が、寛永18年（1641年）、北原地積での新田開発を行い今の集落が開村された。昭和に入り、集落に隣接する天祢津地区の広大な農地開発を行い、「農魂」は生き続けてきました。
まもなく開村400年を迎える北原集落は、昔からずっとあった「農に生きる村」という気持ちを大切に、新しい農業形態や生産物を考え、未来のムラを描きます。

北
原
集
落
25戸

農
に
生
き
る
村

農
地
約
40ha

開村400年 長野県飯山市北原集落

— 未来のムラ創造プロジェクト —

お問い合わせ：一般社団法人 未来社会推進機構（担当：出澤）
長野県飯山市大字瑞穂 6117-2 TEL：0269-67-0520
長野県地域発元気づくり支援金を活用しています



田舎に暮る人々

のうぎょう

未来を

開村四百年 長野県飯山市北原集落

— 未来の人・大募集 —

未来の「食と農」問題について
強い関心のある方、この地で
創造的活動をしては如何？

条件：年齢・性別不問

農に対して体力と熱量の強い方
地域の共同作業に参加できる方

支援：集落の古民家等の

空き家・空き地の紹介
農地の斡旋・農家の指導など
全面協力

北原集落 一同

— 未来のムラ創造プロジェクト —

お問い合わせ：一般社団法人 未来社会推進機構（担当：出澤）
長野県飯山市大字瑞穂 6117-2 TEL：0269-67-0520
長野県地域発元気づくり支援金を活用しています

